

実感!

地球温暖化

～温暖化予測の「翻訳」研究は
何を明らかにしたか～

入場
無料

10月14日(金) 16:30 ~ 19:40 (16:00 開場)

会場：東京大学 安田講堂 (文京区本郷7-3-1)



参加お申し込みはwebサイトから

<http://www.prime-pco.com/s5-sympo2011>

●お申し込みをされた方には参加証を電子メールでお送りいたします。当日は参加証のプリントアウトをお持ちください。
なお、お申し込み多数により受付を締め切る可能性がありますので、お早めにお申し込みください。

お問い合わせ先

環境省環境研究総合推進費戦略的研究プロジェクトS-5 「地球温暖化に係る政策支援と普及啓発のための気候変動シナリオに関する総合的研究」
一般公開シンポジウム事務局

▶ 株式会社プライム・インターナショナル TEL: 03-6277-0117 FAX: 03-6277-0118 e-mail: s5-sympo2011@prime-pco.com

実感！地球温暖化

～温暖化予測の「翻訳」研究は何を明らかにしたか～

趣旨

地球温暖化は重要な問題として社会に認識され、対策の必要性が叫ばれています。

地球温暖化により、100年後に気温が何度上昇する、異常気象が増える、といった予測を聞いたことのある方は多いと思います。しかし、それが自分自身にとってどんな意味を持つのかをよく考えたことがある方は少ないのではないのでしょうか。

たとえば、日々の天気予報はコンピュータが予測した天気図を基にして、晴れのち曇り、降水確率何パーセント、洗濯指数はいくつといった情報に翻訳され、人々の生活に活用されています。同じように、コンピュータが予測した、数十年から百年後の温暖化した気候の状態も、人々が活用できる情報に翻訳される必要があります。

本シンポジウムでは、そのような温暖化予測の社会活用のために行われている研究活動が最終年度を迎えるにあたり、成果を発表するとともに、地球温暖化の予測情報を社会に、そして個人のためにどう役立てていくことができるのかを、地球温暖化に関心を持つ市民の方々と一緒に考えていきます。

プログラム（予定）

- 16：30 **開会**
- 16：30～16：40 開会挨拶と趣旨説明
- 住明正（東京大学サステイナビリティ学連携研究機構 教授）
- 第一部 講演（演題は仮題）**
- 16：40～17：00 予測の前提となる土地利用変化シナリオ
- 山形与志樹（(独)国立環境研究所 地球環境研究センター 主席研究員）
- 17：00～17：20 温暖化の「確率的予測」はどこまで可能か
- 江守正多（(独)国立環境研究所 地球環境研究センター 気候変動リスク評価研究室 室長）
- 17：20～17：40 暑いだけじゃない地球温暖化—世界の気候モデルから読む日本の将来—
- 高数緑（東京大学 大気海洋研究所 教授）
- 17：40～18：00 温暖化予測の結果はどこまで詳しくできるか
- 高数出（気象研究所環境・応用気象研究部 室長）
- 18：00～18：15 休憩
- 18：15～18：35 温暖化は生態系と人間社会にどんな影響を及ぼすか
- 高橋潔（(独)国立環境研究所 社会環境システム研究センター 主任研究員）
- 18：35～18：55 温暖化予測を一般市民に伝えるうえでの課題
- 松本安生（神奈川大学 人間科学部 教授）
- 第二部 パネルディスカッション**
- 18：55～19：40 温暖化予測の「翻訳」研究は何を明らかにし、どこへ向かうか（仮題）
- パネリスト：**
- 第一部講演者（住明正／山形与志樹／高数緑／高数出／高橋潔／松本安生）
 - 瀬川茂子（朝日新聞記者）
- コーディネーター：**江守正多
- 19：40 **閉会**



●会場
東京大学 安田講堂（文京区本郷7-3-1）

交通のご案内

- 地下鉄
丸の内線本郷3丁目駅より徒歩10分
千代田線根津駅より徒歩10分
南北線東大前駅より徒歩8分
- 都バス
JRお茶の水駅より
茶51駒込駅、王子駅又は東43荒川土手行
東大正門前下車
- 学バス
JRお茶の水駅より
学07東大構内行
東大（構内バス停）下車